

令和6年度

高志の国文学館 文学講座

受講料 **無料**

# 「富山を知る・学ぶ」

各界でご活躍中の方を講師に招き、富山の「いま・むかし」について学びます。

第1回 9/7<sup>土</sup>

前田普羅、富山に来る  
一移住前後の動向を中心に一

富山大学学術研究部 人文科学系・准教授 田部 知季 氏



第2回 10/5<sup>土</sup>

佐伯宗義 万里一條鐵～その信念と実行力  
「一県一市街化」とコンパクトシティ構想

富山地方鉄道株式会社 富山地方鉄道百年史編纂事務担当 村井 義治 氏



第3回 11/16<sup>土</sup>

大伴家持 越中で覚えた遊び  
一鶺鴒の楽しみ

慶應義塾大学名誉教授 高岡市万葉歴史館館長 藤原 茂樹 氏



第4回 12/15<sup>日</sup>

百人一首を知ろう  
一競技かるたの楽しみと百人一首の謎

前富山県立図書館長 全日本かるた協会A級公認読手 中崎 圭子 氏



時間 14:00～15:30

場所 高志の国文学館 研修室101

定員 72名(定員に達し次第、締切)

その他 3講座以上受講された方には、希望により  
県民カレッジの単位(5単位)が認定されます。

## 申込方法

裏面の受講申込書に必要事項を記入し、  
郵送またはFAXにて高志の国文学館まで  
送付してください。(お電話でのお申込みも受け付けます。)

※受講票などは送付いたしません。  
(定員に達し、受講いただけない場合のみご連絡します。)

## お問い合わせ申込先

高志の国文学館

〒930-0095 富山市舟橋南町2-22

TEL 076-431-5492 FAX 076-431-5490

高志の国文学館では、  
X、instagram、facebook、HPで  
最新情報を発信しています。  
ぜひフォローしてください!



X



instagram



facebook



HP

心にとっぷり、 栄養補給!



館長 望井 滋

# 受講申込書

|             |   |                              |
|-------------|---|------------------------------|
| ふりがな<br>氏名  |   | (県民カレッジ単位希望者のみ記載してください)<br>〒 |
| 連絡先<br>TEL: | - | -                            |
| FAX:        | - | -                            |

※取得した個人情報は、本講座以外の目的で使用することはありません。

受講を希望する講座に○をつけてください(複数可)

| 実施日                                | 対象先人 / 講演題 / 講演者 / 講座概要  |
|------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 9/7<br>(土)   | <b>前田普羅、富山に来る一移住前後の動向を中心に一</b><br>富山大学学術研究部人文科学系・准教授 <b>田部 知季</b> 氏<br>前田普羅は俳壇の檜舞台である俳誌『ホトギス』で頭角を現し、大正時代の同誌を代表する俳人の一人として活躍した。さらに1924(大正13)年から報知新聞社支局長として富山で暮らし、1929(昭和4)年には永住を決意、同地の俳誌『辛夷』を主宰することとなる。本講演では大正末から昭和初頭、富山移住前後の普羅の動向を概観する。実際に当時の資料を踏まえながら、富山に対する印象や同地の句会との交流について検討してみたい。 |
| <input type="radio"/> 10/5<br>(土)  | <b>佐伯宗義 萬里一條鐵～その信念と実行力<br/>「一県一市街化」とコンパクトシティ構想</b><br>富山地方鉄道株式会社 富山地方鉄道百年史編纂事務担当 <b>村井 義治</b> 氏<br>富山地方鉄道創業者である佐伯宗義は「一県一市街化」構想をはじめとした独自の交通哲学で地方の独自性や活性化を目指してきた。現在、富山県は「鉄軌道王国とやま」とも称され、富山市は「コンパクトシティ」の成功例として注目されている。これら現代に至る礎を築いた、佐伯宗義の生い立ちや信念、実績等と現在の県内交通事情についてご説明する予定です。            |
| <input type="radio"/> 11/16<br>(土) | <b>大伴家持 越中で覚えた遊び一鶺鴒の楽しみ</b><br>慶應義塾大学名誉教授 高岡市万葉歴史館館長 <b>藤原 茂樹</b> 氏<br>庶民に根付いていた鶺鴒は、家持の時代には今ご存じの舟鶺鴒とは少し違っていました。越中に来て覚えた大伴家持の遊びについて、彼の歌をとりあげながらお話しいたします。  |
| <input type="radio"/> 12/15<br>(日) | <b>百人一首を知ろう一競技かるたの楽しみと百人一首の謎</b><br>前富山県立図書館長 全日本かるた協会 A級公認読手 <b>中崎 圭子</b> 氏<br>2012年に富山県で開催された「全国高等学校総合文化祭」を機に、県内高校2校に競技かるた部(同好会)が発足したこともあり、この12年間で富山県の競技かるた人口が増えました。講座の前半は、意外と知られていない正式なルールなど「競技かるたの楽しみ」について、そして後半は、選歌にまつわる「百人一首の謎」についてお話しします。                                     |

申込先

高志の国文学館

〒930-0095 富山市舟橋南町2-22

FAX076-431-5490